



2023年12月7日

各位

会社名 アルフレッサ ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 荒川 隆治
(コード番号2784 東証プライム)
問合せ先 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 羽野 和明
(TEL:03-5219-5102)

令和5年度における静岡県藤枝市地域防災訓練への参加について ～コンテナファーマシーの活用を想定した医療活動に関する訓練の実施～

当社の子会社であるアルフレッサ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:福神雄介、以下「アルフレッサ」といいます)は、2023年12月3日に静岡県藤枝市で実施された地域防災訓練に参加し、災害時におけるコンテナファーマシー^{※1}の活用を想定した医療活動に関する訓練を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 背景と目的

アルフレッサグループは「すべての人にいきいきとした生活を創造しお届けします」という「アルフレッサグループ サステナビリティ基本方針」を制定し、事業活動を通じて社会・環境問題の解決に取り組み、持続的な企業価値の向上を図っています。また、当社グループのサステナビリティ重要課題において「地域社会への貢献」を掲げており、医療用医薬品等卸売事業を行うアルフレッサは、医療用医薬品等の安定供給という社会的責務を担うとともに、地域に根差した事業を通じて積極的な社会課題の解決に取り組んでおります。

同社は、2023年12月7日に静岡県藤枝市との間で「災害支援コンテナファーマシーの運用等に関する協定^{※2}」を締結しました。災害発生時には、移動が可能なコンテナファーマシーを活用することにより、災害時における医療活動を支援していくこととしております。これに先立ち、コンテナファーマシーを活用した医療活動を想定し、静岡県藤枝市の地域防災訓練に参加いたしました。

※1 耐久性や移動性があり、建物として利用できるといった特徴を持つ、災害時において医療活動を行うためのコンテナ

※2 ご参考:2023年12月7日付「災害支援コンテナファーマシーの運用等に関する協定締結について」
URL:<https://www.alfresa.com/news/2023120701.pdf>

2. 令和5年度藤枝市地域防災訓練の概要

2023年12月3日(日) 午前9時00分～午前11時30分、藤枝市立大洲小学校において、災害発生時における医療救護訓練や、倒壊電柱・倒木の撤去による道路啓開訓練、倒壊家屋からの救出救助訓練等、地域の特性に応じた防災体制の確立および市民の防災意識の高揚を目的とした地域防災訓練が実施されました。

中でも、コンテナファーマシーを活用した訓練は、災害発生時にコンテナファーマシーを救護所等に派遣・設置し、医療を提供することを想定し、藤枝薬剤師会とアルフレッサとの連携により行われました。災害発生時に、スムーズに医療を提供するための適切な手順や運用方法の確認を行っています。

なお、コンテナファーマシーの詳細および防災訓練の様子は、2023年12月11日に開催される、医療・ヘルスケア分野における最新テクノロジー(ヘルステック)とそれを活用した先進事例を紹介するグローバルカンファレンス「Healthtech/SUM 2023」にてアルフレッサよりご紹介する予定です。

Healthtech/SUM 2023 公式サイト

<https://www.healthtechsum.jp/index.html>

以 上

【コンテナファーマシーをトラックで会場に搬入し、クレーン車で設置している様子】



【コンテナファーマシー内部の様子】



【「医療救護訓練」でコンテナファーマシーの役割等を説明している様子】



(写真左：アルフレッサ(株) 代表取締役社長 福神雄介)